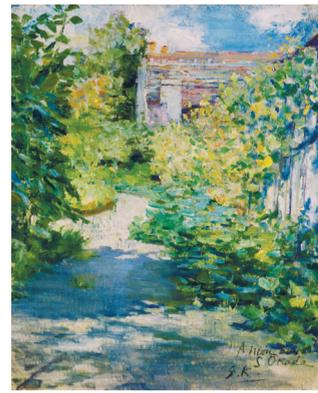


学芸員オススメ!

# 市立美術館の逸品

## ② 黒田 清輝「風景」



【小企画展 師弟の系譜】  
開催期間 12月21日(日)まで

黒田清輝は  
本市出身の近代  
洋画の巨匠です



市立美術館  
やくち 学芸員

黒田清輝の師匠といえば、1880年代にパリで師事したラファエル・コラン。印象派とアカデミズムを折衷した「外光派」を得意とした画家です。黒田の油彩画のなかでも図版の「風景」には、最も印象派らしい瑞々しいタッチを見ることが出来ます。この二人はともにもうるわしい師弟愛で結ばれていました。

放ったのは藤田嗣治でしょう。黒田は外光派の考え方から、普段学生たちに黒い色の使用を禁じていたため、藤田が卒業制作に描いた黒い自画像を、悪い例だとして酷評しました。しかし、例えばこの「風景」の細部を見ると、時には黒田も黒い色を使っていたことが分かります。また藤田も、黒田が急逝したときにパリで開かれた追悼会で、日本の洋画を悪くしたのは黒田先生だと、場もわきまえず批判したそうです。

近代絵画の激動期にちょうど20歳も開きのあった黒田と藤田。おまけに性格も感性も違うこの二人が合うはずもないのですが、お互いに自らの絵画観に身を賭していたからこそ対立だったのでしょう。

【市立美術館 224・3400】



## 知っている? わがまち 維新のまち



今から150年前の1864年に、主君に背いた罪をゆるされて沖永良部から戻ってきた、明治維新の立役者は誰でしょうか?

### <解説>

答えは **西郷隆盛**です。

西郷隆盛は、1862年2月に一度ゆるされ奄美大島から戻ってきましたが、島津久光の命にそむいたため、同年4月、はじめに徳之島、その後沖永良部へ送られました(遠島処分)。

それから2年後の1864年2月、罪をゆるされ、京都に入り軍賦役(軍の司令官)になり、同年7月に起こった禁門の変では薩摩藩兵を指揮して、長州藩兵を撃退し、また第1次長州征伐でも参謀として活躍しました。

その後は薩摩藩の中心となって活躍し、明治維新を成しとげる立役者の一人となりました。

【観光プロモーション課 216-1344】



西郷隆盛  
(国立国会図書館蔵)



# カメラトピックス

camera topics

市政の動きを写真で紹介

10月23日(木)~11月9日(日)



## 薩摩維新ふるさと博

~維新と出逢う時間旅行~

期間中、明治維新当時の衣装を着た「薩摩維新おもてなし隊」によるおもてなしや、市民の皆さんが演じる芝居・郷土芸能の披露など、大いに盛り上がりました。

11月2日(日)・3日(祝)



## 鹿児島市制125周年・新生鹿児島市10周年記念 第63回おはら祭

2日は、かごしま親善大使の任命式や夜まつりが行われ、約8200人の踊り手が参加しました。3日は、秋晴れの中、約1万4800人の踊り手が元気よく踊り、パレードなども行われました。2日間で約23万人の観客が見守る中、色とりどりの衣装と息の合った踊りで、晩秋の薩摩路を鮮やかに彩りました。



11月6日(木)



## 札幌市でのトップセールス

本市と観光・文化交流協定を締結している札幌市で、森市長がトップセールスを行いました。桜島火の島太鼓の演奏や、薩摩観光維新隊によるPRなどもデパートで行われ、多くの来場者でにぎわう中、本市の特産品や観光をアピールしました。

11月7日(金)



## 鶴岡市との兄弟都市盟約45周年

昭和44年11月7日に兄弟都市盟約を締結してから45年目のこの日、森市長を団長とする記念訪問団が鶴岡市を訪れ、今後も青少年の交流などを通じて、両市の交流の絆を一層深めることを確認しました。

11月16日(日)



## 鹿児島市制125周年・新生鹿児島市10周年記念 農林水産秋まつり・ふるさと芸能祭

今年もふるさと芸能祭と同時開催された農林水産秋まつり。園芸共進会出品物の即売会や親子で楽しめる体験イベント、伝統芸能の披露などがあり、大勢の来場者でにぎわいました。